

10月13日に予定していた全国集会は台風のために中止しましたが、市東孝雄さんの農地をめぐる攻防、第3滑走路建設・滑走路の運用時間の延長などの空港機能強化との闘いはいよいよ正念場を迎えています。



私たちは12月14日、成田市天神峰の市東孝雄さんの畑で現地闘争&団結いも煮会を開きます。ぜひご参加ください。

団結いも煮会 (2016年12月4日)

# 12・14現地闘争&団結いも煮会にご参加を

## “元公団職員の証人を採用せよ！” 10・27耕作権&やぐら裁判で内田裁判長を徹底追及

10月28日、千葉地裁民事第2部(内田博久裁判長)で市東さんが3代耕し続けてきた農地の一部をNAAが「不法耕作」と決めつけ明け渡しを求める耕作権裁判が開かれ、裁判官の交代に伴う更新手続きが行われました。続いて同法廷で、天神峰農地に建つ反対同盟所有のやぐらや看板などの撤去をNAAが求めるやぐら裁判が開かれました。



裁判に先立ち千葉市内をデモ (10月28日)

天神峰農地はNAAが旧地主から市東家に無断で「取得」したものであり、その売買は違法・無効です。当然、所有地でもない畑の上に建つ看板などの撤去を求める権利はNAAにはありません。違法な無断「買収」にかかわった元公団(現NAA)の用地部の職員や黒野匡彦元公団総裁の証人調べは必須不可欠です。法廷で証人採用を決めない内田裁判長に対し徹底弾劾の声が叩きつけられました。裁判にご注目を!



# 12・14現地闘争&団結いも煮会

- ・12月14日(土) 午後1時  
成田市天神峰 市東孝雄さんの南台の畑
- 13時～ 打ち合わせ
- 13時15分～ デモ行進 (天神峰の市東さんの畑まで)
- 14時～ いも煮会 (市東さん宅中庭)

参加は無料  
持ち寄り大歓迎

# 成田空港が基本計画を改定

## 睡眠 4 時間半で生きられるか！

# 12月公聴会で怒りの声を上げよう

11月5日、国土交通省は成田空港の基本計画を1966年の制定以来初めて改定したと発表しました。横風用滑走路計画を廃止し、第3滑走路を増設。B滑走路は北側に1千メートル延伸。空港全体の運用時間は午前5時から翌午前0時半とする。空港の敷地面積は現在の1・9倍。新たに1千メートル以上も拡張するとしています。

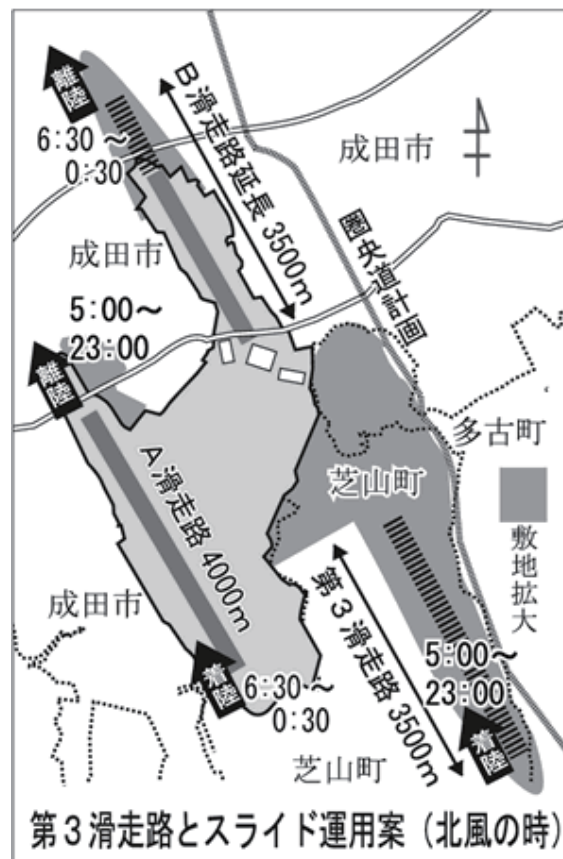
1千数百戸の住民を叩きだし、膨大な自然を破壊する空港拡張、深夜・早朝の飛行時間の延長に対し、これまで行われたすべての説明会で、「人が生活できないのに共存共栄はありえない」と多くの反対や不安の声が上がっています。地元の理解を得られたとは言えないというのが説明会に参加した住民の実感です。にもかかわらず、NAAは7日に国交省に空港の変更許可を申請しました。総事業費5千億円（新ターミナルの建設費などは除く）を見込み、完成期日は基本計画からさらに1年前倒しし、2028年度中の完成を目指しています。

NAAはすでに拡張部分の96%の面積にあたる地権者から同意書をとったと強弁しています。しかし、「適正な価格での買収交渉に応じる」なる同意書をいくら集めようが、用地取得をしたことにはなりません。「二度と強制的な手段は用いない。用地取得は住民と合意形成し、任意

買収」という空港反対闘争が勝ちとり、強制してきた地平を崩すことはできていません。

国交省は12月にも公聴会を開き、地元の意見を聞くと言っています。私たちは、そもそも4時間半の睡眠で生きていくことはできません。騒音・落下物、自然破壊によって子どもたちの夢と未来を奪うことは絶対に許せません。空港機能強化の白紙撤回を勝ちとることは必ずできます。

私たちの暮らしと健康、命を奪おうとするNAAに対し、公聴会で絶対反対の声を共に上げましょう。



## 弾劾声明

# A滑走路の運用時間深夜延長を弾劾する

## 三里塚芝山連合空港反対同盟

政府・成田空港会社は、1971年1月29日に橋本登美三郎運輸大臣（当時）が受け入れた「空港の運用時間は朝6時～夜11時までとする」という約束を破り、10月27日から深夜1時間の延長を強行しようとしています。大阪国際空港では朝7時～夜9時、福岡国際空港では朝7時～夜10時と夜の静穏時間は9時間から10時間確保されています。住民が生活するうえで最低限守られるべき人の道があります。成田空港開港以来初の運用時間延長を断じて許すことはできません。

この北総台地は日本で有数の農業地帯です。安倍政権による地方切り捨て・農業破壊に加え、夜間静穏4時間半のはじまりは、この地域にはかりしれない苦難をもたらす

ます。

内陸空港の全矛盾を住民におしつけ空港だけが生き延びようとする今回のA滑走路の運用時間延長の前倒し実施は人がやることではありません。いかなる騒音対策をとろうとも計画自体が住民の生活を無視している以上、白紙撤回あるのみです。私たち反対同盟は「金より命」の市東孝雄同盟員の農地を守る闘いに全力を挙げています。「いかなる意味においても強制的手段をとらない」という村岡兼造運輸大臣（当時）の声明を成田空港会社に強制し続けています。空港がもたらす地域破壊を北総台地住民のみなさんと共に闘います。共に決起を！

2019年10月27日

# STOP!! 東海第二原発の再稼働 いばらき大集会に700人



駿優教育会館に700人が集まった（11月16日）

11月16日、「STOP!! 東海第二原発の再稼働 いばらき大集会」が茨城県水戸市の駿優教育会館で開かれ、700人が集まりました。12年間も動いていない老朽原発を動かす危険性について全体で共有し、廃炉にするまで粘り強く闘い続けることを確認しました。再稼働阻止の声を共に上げましょう。

# 地域住民の声

今回は横芝光町の住民から成田空港のA滑走路の運用時間延長と第3滑走路建設に反対する意見をいただきました。

◆これから増便!? 延長は必要なかった。N A Aへの怒りを一つに。

横芝光町 会社員 (男性)

N A Aは、10月27日からA滑走路の運用時間を1時間延長し、朝の6時から深夜24時までの運航を強行した。今回の延長によって22時以降の夜間発着は週106便から週129便に増加している。貨物便の1便を除いて、すべてが現在運航している便を後ろにずらしたものだ。

N A Aの田村社長は記者会見で、「深夜枠の回数は十分ではない。23時台の就航について航空会社に働きかけたい」と言った。ふざけるんじゃない

い！ 運用時間の延長は必要なかったじゃないか。これからキャンペーンを始めるといふN A Aは絶対に許すことはできない。住民に犠牲を押し付けて儲かればいいというN A Aに町民の怒りを一つにして反対の声を上げていきたい。

◆用地内と騒音下で一緒に声をあげれば、機能強化は撤回できる

横芝光町 自営業 (男性)

もしC滑走路が完成すれば、横芝駅上空を現在の880㍎から550㍎というより低空を飛行機が飛ぶことになる。空港機能強化を許したら町の未来はない。「空港との共存」は幻想だ。N A Aは第3滑走路建設をするために用地対象地域から100%を目指して同意書を集めているようだが、強制的な用地取得は二度とやらないし、できないということのあらわれだ。用地内外で一緒に声を上げれば必ず機能強化はやめさせられると確信している。

## 10・27 天神峰カフェが大盛況

次は11月24日(日)正午、成田市天神峰に集まろう



市東さんの農地を守ろう！ (10月27日)

10月27日、天神峰カフェを行いました。羽田空港の機能強化に伴う都心上空低空飛行に反対する住民など多くの初参加者を含む約60人が集まり、市東さんの農地で採れた野菜を使った料理などをいただきながら意見交換をしました。次回のカフェは11月24日(日)正午からです。ぜひご参加ください。